

46 週 救いの手段としての礼典

質問 91. 礼典が、どのようにして救いの有効な手段となりますか。

答え I 礼典が、救いの有効な手段となるのが、礼典そのものや礼典を執行する者の徳によってなるものではありません。ただキリストの祝福なさとことと、礼典を信仰によって受け入れる者たちのうちに、聖霊がみわざを行われることで有効になるのです。

質問 92. 礼典とは、何ですか。

答え I 礼典は、キリストが制定なさった聖なる儀式です。この儀式において、キリストと新しい契約の有益らが、目に見えるしるしとして信者たちに示され、保証され、適用されるのです。

解説

礼典そのものに効力があるわけではありません

礼典そのものに力や効力があって人々を救うものではありません。聖書を見ると、キリストを否定した者たちが御前に出て「私たちはご一緒に食べたり飲んだりいたしました」（ルカ 13:26）と言いました。それなら、彼らが救われたのか。

そうではありません。礼典に、物理的に参加するのは何の効力もありません。ユダヤ人たちは割礼を受けたが、律法を破る者たちでした。割礼が彼らに何の効力も有用性もなかったのです（ロマ2:25）。むしろ彼らは、心に割礼を受けるべき者たちでした（ロマ2:29）。

さらに礼典を執行する者を通して効力があるのでもありません。パウロやアポロは、ただの人たちで、ただ道具に過ぎませんでした（Iコリント3:5）。執事ピリポは、シモンにバプテスマを授けたが、彼にどんな効力も表れませんでした（使徒8:13、23）。

礼典の効力は、キリストの祝福に掛かっています

礼典の効力は、キリストが祝福なさることにかかっています。主は「見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」（マタイ28:20）。と弟子たちに約束なさいました。そして礼典は、聖霊のみわざに掛かっています。聖霊が、その靈魂を覚醒させなければなりません（ヨハネ6:63）。

礼典は、それを信仰によって受け入れる者にだけ効力があります（マルコ16:16）。救いの信仰を持ちながら、自分の罪が赦されたことを確信し、キリストの血が、自分の罪を洗い流すことを悟る靈魂は、礼典がどれほど大切なのかを知ることになっています。それで洗礼を受けることを渴望するようになります。

聖なる儀式

礼典は必ず、清さが同伴される聖なる儀式です。礼典は、神が区別させておいたものです。神は、主の器具を触る者たちに、先ず、清め儀式を済ませました（イザヤ52:11）。神殿で奉仕する者たちは、自分を清めた後、聖なる者として仕えることになっています（Iコリント9:13）。礼典は、キリストが制定なさったものと

して（マタイ 28:19、I コリント 11:23）、主が直接、しるしとして私たちに与えたものです（イザヤ 7:14）。人間が礼典を定めることはできません。ヤロブアムは自分の思うままに儀式らを定めました。それによってイスラエルは、偶像を拝む罪に陥るようになります（I 列王 12:33）。

外的に目に見えるしるし

礼典は、外的に目に見えるしるしです。しるしは恵みを表わします（ヨハネ 6:56、使徒 22:16）。礼典は、血の契約を見るようにさせます（出 24:8）。外的に見えるものを通して内的なことを知らせてくれるのです。キリストは確かに十字架で釘打たれ、血を流されました（ガラテヤ 3:1）。それで礼典を通して、私たちは記憶を新たにします。まるで、ヨシュアが石を立てて、すべての人々に記憶するようにさせたことと同じです（ヨシュア 4:7）。

礼典は、私たちの心を揺り動かしてキリストを見るようにします（ゼカリヤ 12:10）。新しい契約の有益らを目で見られるようにしてくれます。この有益らは、ただ信仰ある者にだけ適用されます。これは、世代を重ねながら伝達されて活きます。それで子供たちが聞く時、その意味を答えてあげなければなりません（出 12:26）。

保証と適用

礼典は、信仰による義を保証します（ロマ 4:11）。それは、私たちの信仰を励まし、従順するように挑戦させます。キリストと共に葬られ、キリストと共に復活されたことを明白に見せてくれるので、それ以上、罪の中で生きることをせず、神に対して生きようとします（ロマ 6:6）。それは、キリストが、礼典を通して私たちに適用されているということです。キリストにつく、バプテスマを受けた者

は、キリストを、その身に着ていることです（ガラテヤ 3:27）。新しい契約の有益らが、私たちに適用されたことで、神が私たちの神となれたこと、私たちが神の子共となれたことを確信するようになるのです（創 17:7）。